



昔ながらの餅つき体験 (小平ふるさと村)

令和5年12月定例会は、11月28日から12月20日まで23日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和4年度の一般会計決算を不認定としたほか、各特別会計・下水道事業会計決算を認定するなど37件の市長提出議案について可決・認定し、1件を閉会中の継続審査としました(各会計決算の詳細は2面に掲載)。議員提出議案は、生産緑地の申請をしている都市農家に対する相続税の負担軽減を図るべく、納税猶予措置適用の拡大の検討を求める意見書を可決しました。請願は3件を採択しました。

また、11月29日から3日間にわたり、27人の議員から64件の一般質問がありました。

## 12月定例会

# 令和4年度 一般会計決算を不認定、 各特別会計・下水道事業会計決算を認定

— 令和5年度一般会計補正予算(第5号)などを可決 —

## 新しい 年を迎えて

このたびの令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、日頃から市議会に対し、ご理解とご協力を賜り、市議会を代表して厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行されたことで、社会経済活動は少しずつ正常化し、地域に活気が戻りつつあると感じております。

また、国際的な原材料価格の高騰や円安の影響などによるエネルギー・食料品等の価格高騰は、市民生活・事業活動に今なお大きな影響を及ぼしています。

そして、昨年はワールド・ベースボール・クラシックが開催され、小平市出身の栗山英樹監督率いる侍ジャパニーズが、3大会ぶり3度目の優勝を果たすなど、選手たちの活躍が、日本中に笑顔と勇気を与えてくれた一年でもありました。

そのような情勢の中、小平市議会におきましては、昨年4月の市議会議員選挙により、市民の皆様から信任をいただいた28人の市議会議員が選出され、新たな構成でスタートしました。また、7月と11月には、市民と議会の意見交換会を開催し、皆様から多くの貴重なご意見をいただくことができました。一方、さきの12月定例会では、市制施行後初めて一般会計歳入歳出決算を不認定としました。今後も、開かれた議会を目指すとともに、議会のチェック機能を十分に果たしてまいります。

令和6年度は、小平市第四次長期総合計画基本構想のもと、個別の分野の現状や課題等を踏まえ、4年ごとの中期的な視点における方向性や主要施策等を示す、第1期中期実行プランの最終年度となります。少子高齢化に伴う子育て支援や保育環境の充実、災害対策など、様々な課題に目を向け、市民の皆様様の生活向上に寄与できるよう、議員一同誠心誠意努めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして  
幸多き一年となりますことを心より祈念  
申し上げます。新年のごあいさつと  
させていただきます。



副議長  
中江 美和



議長  
松岡あつし